豊橋市

報　道　発　表　資　料

令和８年 10 月 27 日（火）

インフルエンザが流行中！
～早めのワクチン接種などの感染予防対策を～

2026 年第 42 週（10 月 12 日から 10 月 18 日まで）の愛知県内の感染症発生動向調査において、県内の定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数（※）は「7.83」であり、９月 28 日からインフルエンザ注意報が県内全域に継続して発令されています。

豊橋市では、第 42 週は「5.22」であり、現在流行が一旦落ち着いていますが、冬季に向けて流行が再び拡大する可能性があります。

こまめな手洗いや換気、マスク着用などの咳エチケットで感染予防に心がけ、また、早めのワクチン接種を検討しましょう。

※定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数 ＝ 定点医療機関における１週間のインフルエンザ患者数の合計÷定点医療機関数
流行入り　：全県平均で定点医療機関当たり「1」を上回った場合
注意報発令：全県平均で定点医療機関当たり「10」を上回った場合
警報発令　：全県平均で定点医療機関当たり「30」を上回った場合
警報・注意報解除：全ての保健所管内で定点医療機関当たり「10」を下回った場合

● インフルエンザの予防について

正しい知識と適切な行動で感染予防に努めましょう！







ブラックジャックによろしく　佐藤秀峰

※1 咳エチケット
・咳やくしゃみが出る場合は、他の人にうつさないために、マスクを着用しましょう。
・マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、顔をそむけてしましょう。
・鼻水、痰などを含んだティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。

● 漫画を活用した啓発について

多くの人に感染予防の基本について周知し、感染予防を実施していただくため、視覚的なアピール効果が高く、子どもから大人まで幅広い層に訴えられる漫画を活用した啓発を実施しています。本漫画を活用し、豊橋駅東西自由連絡通路のデジタルサイネージやＳＮＳなどで啓発する予定です。

● 定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数の推移

	第 40 週 （9/28～10/4）	第 41 週 （10/5～10/11）	第 42 週 （10/12～10/18）
豊橋市	9.56	9.00	5.22
愛知県	11.88	11.47	7.83
全国	11.35	12.81	―

インフルエンザの流行は、例年 12 月から３月にかけてピークを迎えることが多いですが、今シーズンは例年に比べ早い時期から本格的な流行がみられています。症状があるときは早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザは、咳・鼻汁・咽頭痛などの上気道症状とともに、発熱・頭痛・関節痛・筋肉痛・全身倦怠感などの全身症状が現れることが特徴です。
小児ではまれに急性脳症を、高齢者では肺炎などを併発して重症化することがあるため、特に注意が必要です。
インフルエンザを疑う症状が出た場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
また、インフルエンザワクチンは発病を予防することや、発病後の重症化や死亡を予防することに関して一定の効果があるとされています。インフルエンザワクチンの接種を希望する方は早めに接種を受けましょう。

問合先　豊橋市保健所　保健医療企画課　主幹　山本（電話 0532-39-9104）

SDGs 未来都市 豊橋市